

外部評価実施一覧

事務事業名 (所管課)	事業の意図	事業の概要	平成28 年度決 算額(千 円)	成 果			外部評価委員会		
				成果指標 (単位)	平成27 年度実 績	平成28 年度実 績	平成29 年度目 標	今後の方 向性	意 見
生涯学習推進事業	子供から高齢者まで生涯にわたって、家庭・学校・地域社会に還元できるように学習内容を検討し、人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価され生かされる生涯学習社会の実現を図る。	子供から高齢者まで生涯にわたって学習できるように、多様な学習機会及び集会の場として、各種公民館講座を開催し、2月には生涯学習フェスティバルを開催し、講座の成果を発表していただき、広く市民の方々への公民館講座の啓発を兼ねる。また、各館独自の事業として、子供相撲大会、集団合宿など地域の特色ある社会教育事業を実施する。	3,824	公民館講座受講者数(年間延べ人数)	5,349	5,239	5,750	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバルの参加者については、講演の内容及び参集される方の事も考えて、増員に努めて欲しい。 ・アンケートの結果を見直して、市民が望まれる講座をさらに行っていたきたい。 ・アンケート等によって募集の案内を工夫されているが、場合によっては定員割があるような講座については、改廃を含めて検討する必要がある。
(コミュニティ推進課)				公民館事業の参加者数(年間延べ人数)	1,197	781	670		
博物館事業	玉名市の歴史や文化について、資料の収集・調査研究し、展示等とおおして広く内外に紹介することにより、市民各層への歴史的教養を深め、郷土愛を培うことに努め、地域に貢献できる博物館づくりを目指す。	社会教育機関として企画展や催し物等の様々な事業を実施し、資料の収集・調査を行い、玉名の歴史や文化を紹介し、学ぶ場・機会を提供する。企画展事業、催し物事業、体験学習事業、広報・集客業務、出前講演・講座事業	9,944	博物館来館者数(入館した延べ人数)	17,150	11,481	13,000	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の取組みが市民にどう跳ねかえるか、期待は大きいものである。大人、子どもを問わず何時でも誰でも学習できる場を目指して欲しい。 ・企画展事業の充実と小学生向けの体験学習事業を今まで以上に充実させて、現状のまま続けてほしい。 ・大河ドラマの企画展示等のPRなど事業内容を市民に知らせ、来館者数を増やす努力も必要である。
(文化課)									
体育団体運営支援事業	各競技スポーツの育成及び競技力の向上、地域生涯スポーツの推進と地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進による生涯スポーツの充実を図る。	玉名市体育協会や玉名市スポーツ推進委員協議会等の運営や活動に対して、補助金等を交付し、競技スポーツの競技力向上や選手又は指導者の育成、地域スポーツ活動の普及促進を図る。	7,069	県民体育祭総合順位	5	—	5	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・運営上の問題がある場合は活動支援が出来ること望む。 ・児童、生徒が迷わないように体制づくりに努力して欲しい。 ・小学校の社会体育移行問題等と重なる時期でもあるので、継続実施を行う必要がある。 ・市民のニーズに合った、総合型スポーツクラブを作って欲しい。
(生涯学習課)				県民体育祭出場者数	398	—	350		
情報教育推進事業	通常学級に在籍する発達障害等と思われる児童の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するとともに、児童の学力向上及び健全な心身の育成を図る。	国が推奨する学校教育における情報教育推進(ICT化)を図るために、市内全校に学習用パソコン及び校務用パソコンを整備するとともに、OS(オペレーション・システム)のサポート期限の到来に合わせ、定期的な機器更新により、ウイルス感染や情報流出等のセキュリティ対策も併せて実施するもの。	52,965	整備率 (各年度までの整備台数/総整備台数)	67	86	100	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや学校現場の目指すものに向けて更なる充実を図って欲しい。 ・多額の財源を使う中で、パソコン更新及び配備は必要なので、活用を今後さらに高めてもらいたい。 ・これからの社会もパソコンは必要なので、正しい使い方を習う事は大切なことである。年間利用率の向上を目指して欲しい。
(教育総務課)									